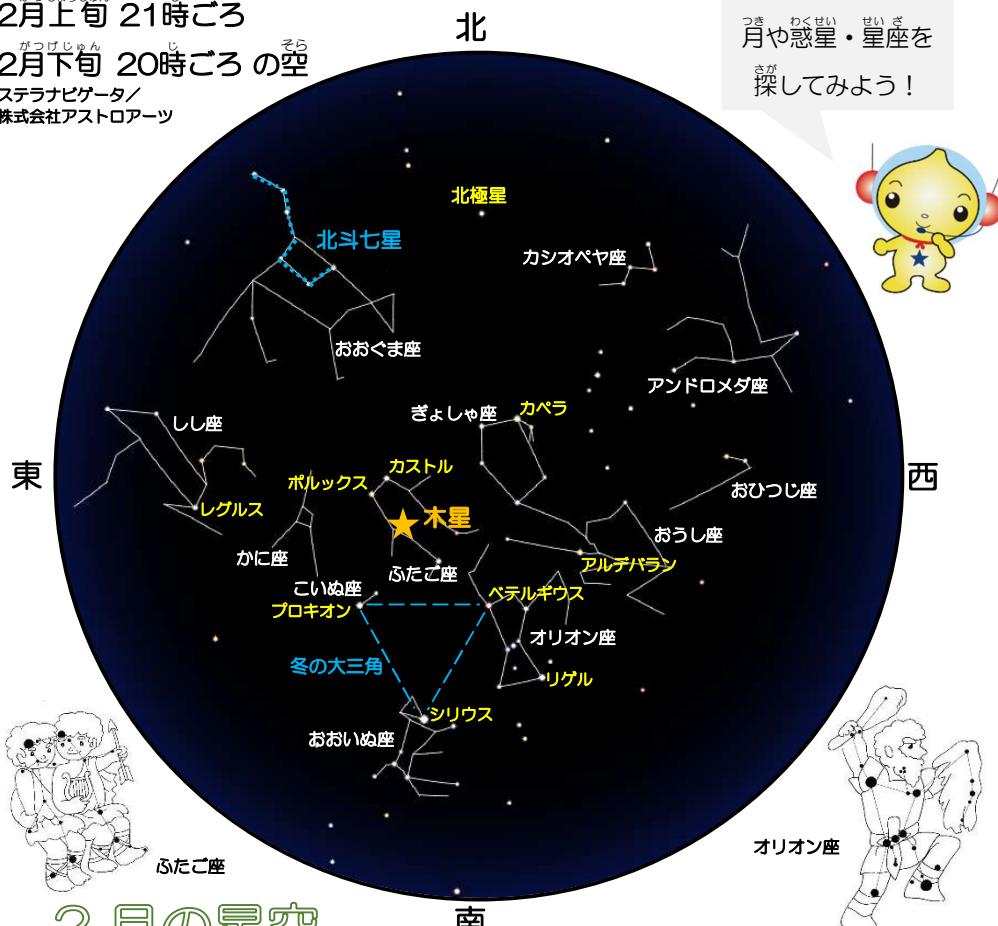


月刊 星空の散歩道 2月号

2026年

2月上旬 21時ごろ

2月下旬 20時ごろ の空
ステラナビゲーター/
株式会社アストロアーツ



2月の星空

☆宵空の主な星座と明るい星☆

みなみ てんちょう そら ふゆ せいざ そら はる せいざ み
南と天頂の空に冬の星座が、東の空に春の星座が見える。

<西> アンドロメダ座、おうし座（アルデバラン）

<天頂> ぎょしゃ座（カペラ）、ふたご座（カストル、ポルックス）

<南> オリオン座（ベテルギウス、リゲル）、おおいぬ座（シリウス）、

こいぬ座（プロキオン）

<東> しし座（レグルス）

<北> 北極星、カシオペヤ座、おおぐま座

☆天文トピック☆

2月 4日 立春

暦の上では春の始まり。前日は節分で、豆をまいて邪気を払い、無病息災を願います。

2月 27日 月と木星が接近

月が木星の近くに見えます。今年の冬はふたご座のポルックスの近くに木星が見えているので、一緒に探してみましょう。

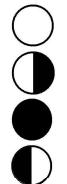
☆月の形の変化☆

2月 2日 満月

2月 9日 下弦

2月 17日 新月

2月 24日 上弦



★2月の惑星★

土星…日没後、西の空
木星…日没後、東～南東の空

＜天文コラム＞ 満月と皆既月食

2026年3月3日に皆既月食が起こります。午後8時30分頃に皆既食の最大となります。

皆既月食は、満月の中でも、特に太陽・地球・月が一直線に並び、地球の影に月のすべてが隠れることから起こる現象です。

今から約2600年前のバビロニアの時代から、ある日に皆既月食が起こると、その日から223回目の満月の日に再び皆既月食が起こることが知られています。日数で言うと6,585.3212日（18年11日8時間または18年10日8時間）で、これをサロス周期といいます。今回の皆既月食の1周期前は2008年2月21日でしたが、この時は8時間ずれた正午過ぎであったため、日本で見ることはできませんでした。この時以降、月食は25回（うち15回が皆既月食）起こっていますが、それぞれが同じサロス周期毎に月食を繰り返しています。このため、月食の予報は比較的簡単です。この先、今回と同じ位置関係（1周期後）で皆既月食を迎えるのは2044年3月14日午前4時頃となります。

過去や未来の月食に想いを馳せながら、今回の皆既月食を楽しむのはいかがでしょうか？

